

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール吹田けんと		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 8日	～	2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年 10月 8日	～	2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者様に寄り添い、お子様だけでなくご家族にも寄り添った支援の提供を行っている。	・保護者様との信頼関係を築くため、時間をかけて丁寧に会話をお聞きする。	・スクール内外研修を重ね、保護者支援がしっかりとできるように、知識を高める。 ・保護者様との関係性を深めるためにも、対面での会話を大切にす。
2	・お子様に合わせた環境設定や玩具を準備している。 ・お子様一人一人に合わせて活動内容を考えているので、プログラムの内容が多様である。	・手作り玩具は、お子様の発達や興味関心に合わせて準備する。 ・指導員のそれぞれの視点の意見を出し、納得するまで話し合う ・一人一人に合わせた内容を考え、実践し振り返り、改善を繰り返し、お子様のためには労を惜しまず取り組む。	・お子様のことを理解できるように、アセスメントをしっかりする。 ・お子様の良い面を活かし、楽しく活動できる内容を工夫して取り入れる
3	・観察室からお子様の様子を見てもらえることが、係わり方や声かけの仕方など、保護者様にお伝えしやすい。 ・幼稚園、保育所、こども園の先生など、セッションの様子を観察室から見学していただけるので、お子様について共通理解に繋がりやすい。	・関係機関連携は丁寧に積み重ねている。 ・信頼関係をしっかりと築くために他者の意見を聞くことを大切にしている。 ・関係機関との連携の記録を取り、包括的な支援につなげている。	・経験を重ねることで、多角的に見る力をつける ・話し合いを重ね分析力を高める ・互いの意見を聞く姿勢を大切にす ・情報共有をしやすい方法を工夫していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・感覚調整遊具を設置しているときに、療育室の活動範囲が狭まることある。	・安全な環境を整えることを意識して、お子様が楽しめる遊具の設置を考える。	・利用人数やお子様の年齢に応じ、安全な環境設定をする ・遊具を片付けた状態の広い室内での活動を取り入れ、新鮮な気持ちで遊べる環境を整える。
2	・利用者様の希望の日程に偏りがあるため、すべてのご希望通りにご利用いただけないことがある。	・保護者様のお仕事のご都合などにより、送迎が難しいため、ご利用日に偏りが出ている。	・イベントやグループの活動日を設けることで、ご利用できる機会を増やす。 ・祝日などを利用し、参加しやすいプログラムを設定し、普段と違う活動を楽しんでいただく。